

FMアップルウェーブ 第98回放送番組審議会

開催日時

平成28年6月18日(土) 12:00~13:00

開催場所

土手町コミュニティパーク地域交流室(弘前市土手町)

出席委員

委員長 石岡 徹、副委員長 工藤 茂起、委員 鳴海 清彦、佐藤 浩之、太田 眞理子、高村 智子、檜山 史子

会社側出席者

専務取締役:一戸 勝美、取締役:波多野 厚緑
放送部統括マネージャー:花田 由香子 チーフ:玉田雅規

議題

- (1)番組に対する意見要望
- (2)次回開催日について6月18日(土)

議事の概要

○ 各委員が質問と意見や気が付いた点を述べる形で議事が進行した。

1) 課題番組 『ゴゴナビ!!』(火曜13:00~15:50)

- ① 落語家ならではの口調で、テンポ・流れ・間が良い。落語の中の音楽を吹奏楽の経験を踏まえて分析していたのでわかりやすい。学校寄席をやりたい、という考えに好感が持てる。独特な内容で楽しく聴けた。
- ② 声のトーン、話し方が心地よく、声でおもてなしをしている。のんびりした柔らかい口調が午後の時間帯に合っているのでは。落語・落語の囃子についての話題はほかのパーソナリティにはできない話題でよい。ただ、ひとつひとつの話題が長く感じる部分もあった。
- ③ 落語家の真打であるからこそその話題がよかった。話し手のプロであるのであれば知っていることがわかっていなかったり、自身のことについて明確にしていなかったり、もう少し聴く人に親切になってほしい。
- ④ 語りが上手なのですんなり話題が入ってくる。内容も分かりやすい。
- ⑤ 太鼓や囃子など、落語番組や大相撲を観ていて触れたことがある話題について語っていたので興味深く聴けた。まだ慣れていない部分も感じられ、横文字の曲紹介が不得意そうなのが気になった。選曲は偏っているが、若い人には新鮮に聴こえるのでは。
- ⑥ 内容について好き嫌いはあるだろうが、放送のマンネリをなくするための良い人選。県外、国外からいろんな人が弘前に観光で訪れる中で、弘前を「知らない人が見た弘前」というのを地元の人が知るのに良いのではないか。
- ⑦ 人を惹きつける、飽きさせない語り口。弘前市内で落語を披露する場が増え活躍することを期待する。落語について詳しく分析している話も分かりやすかったので、子どもたちが伝統芸能としての落語に触れる機会になってほしい。ぜひ学校寄席も。

【審議機関の答申または改善】

放送がマンネリ化しないよう、今後もパーソナリティの資質の向上と、人選を図る。

【審議機関の答申または改善意見の公表】

- 1) 議事録を本社に配備し、社内各部署に配布
- 2) FMアップルウェーブのホームページに掲載